

既存統計データに基づく九州圏の現状分析

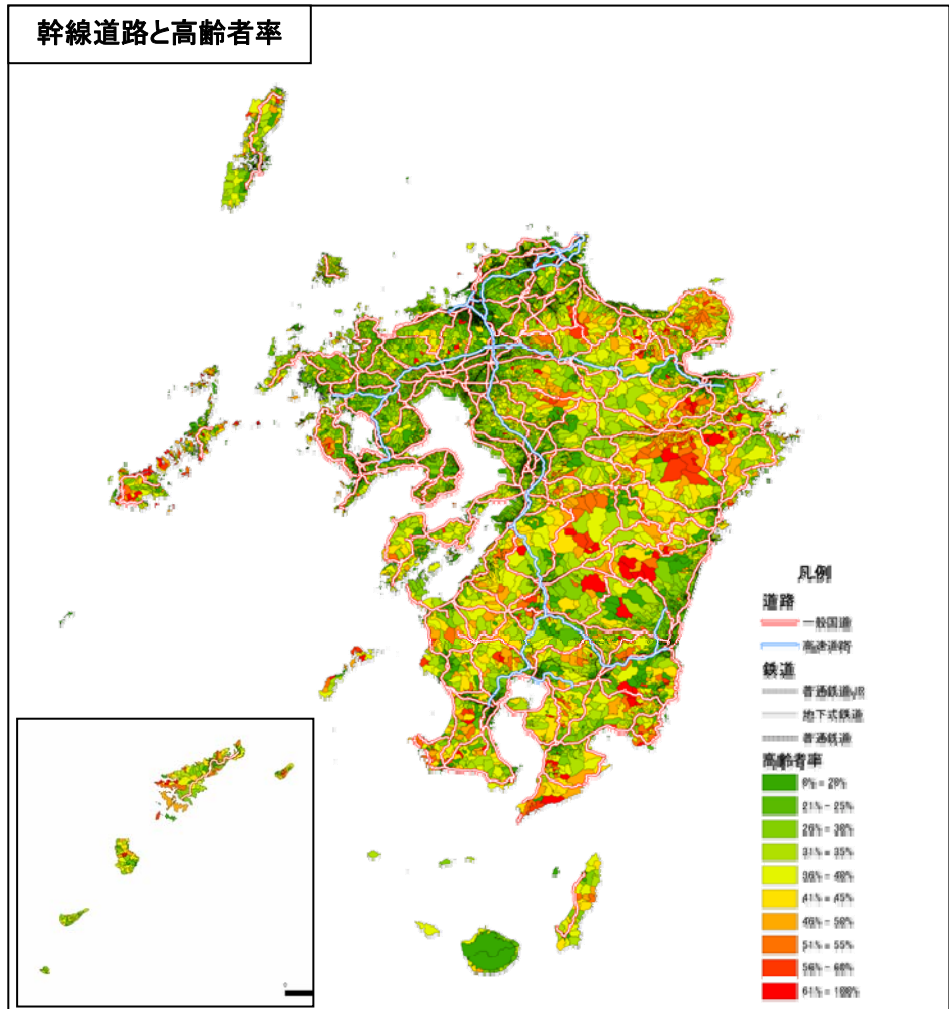
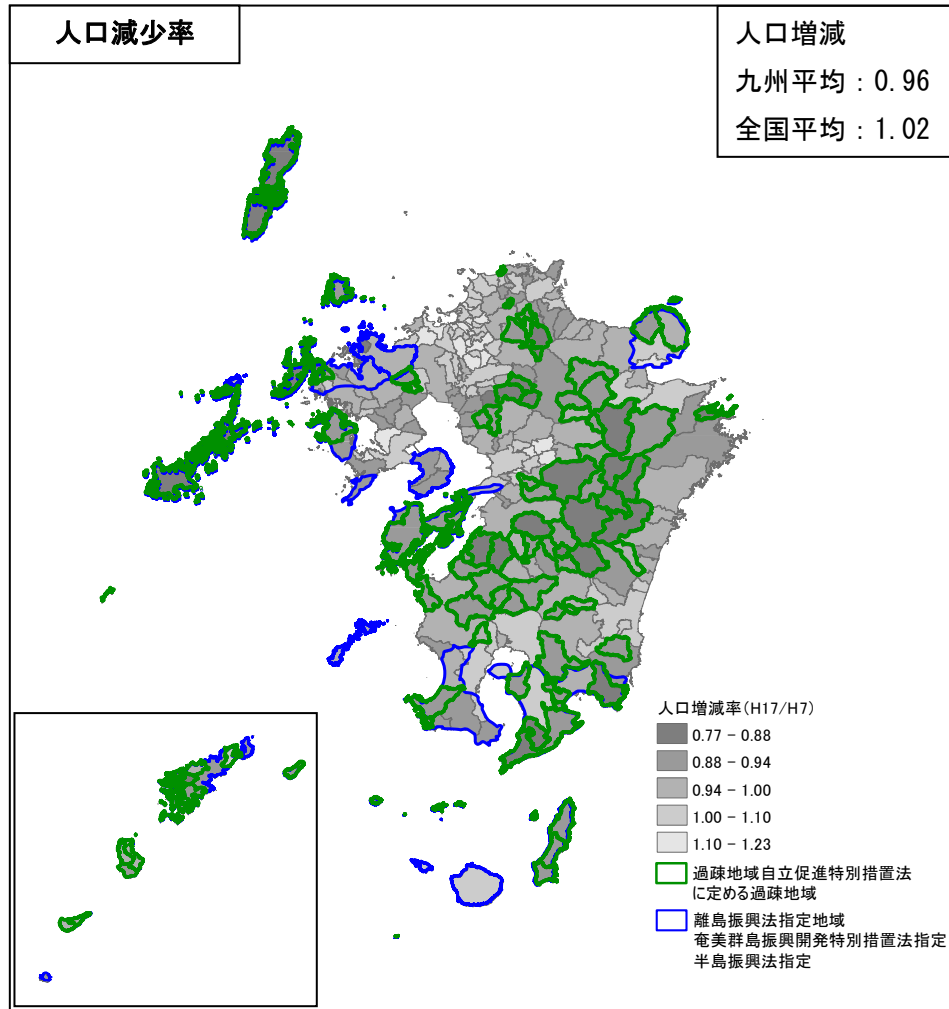
平成20年1月18日(金)

1. 人口動態

参考資料1：P1～5

○九州山地の中山間地や離島・半島など、条件不利地域とされる地域で、人口減少・高齢化の進展が顕著に見られた。

○地理的な条件に加え、幹線道路によるアクセスが不利な地域で、高齢者比率が高い傾向が見られた。

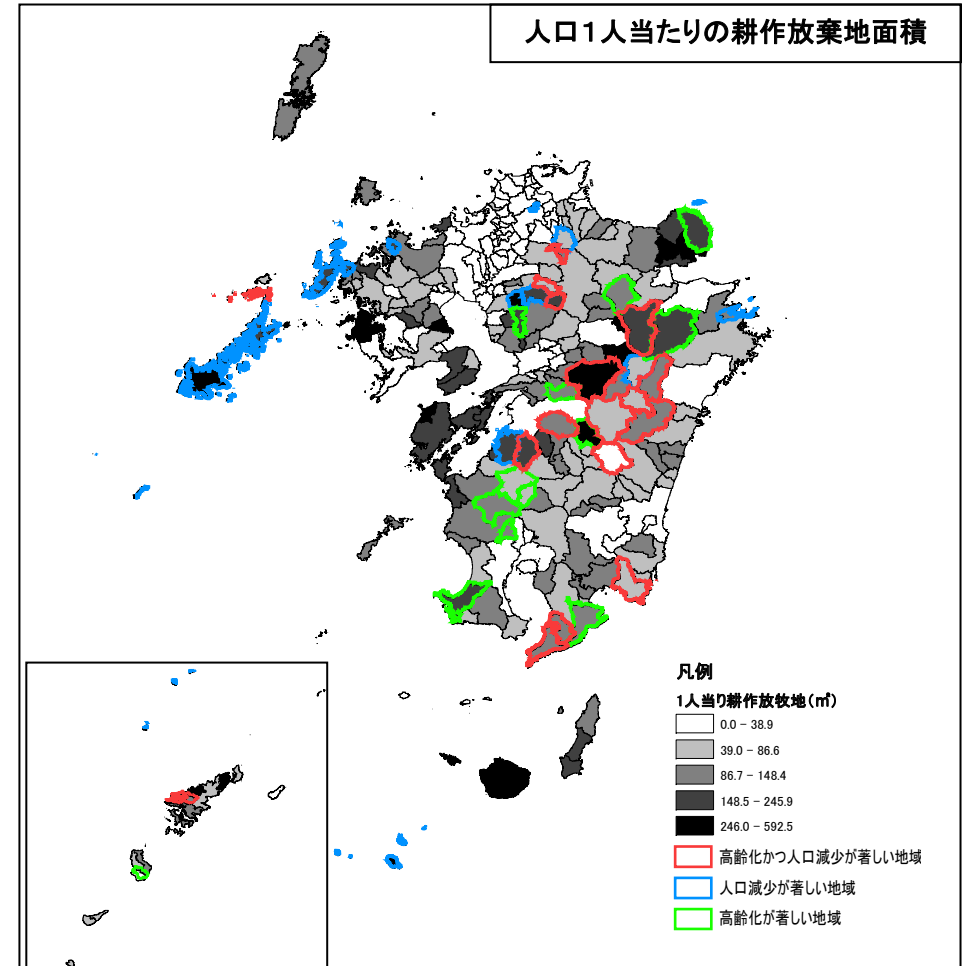
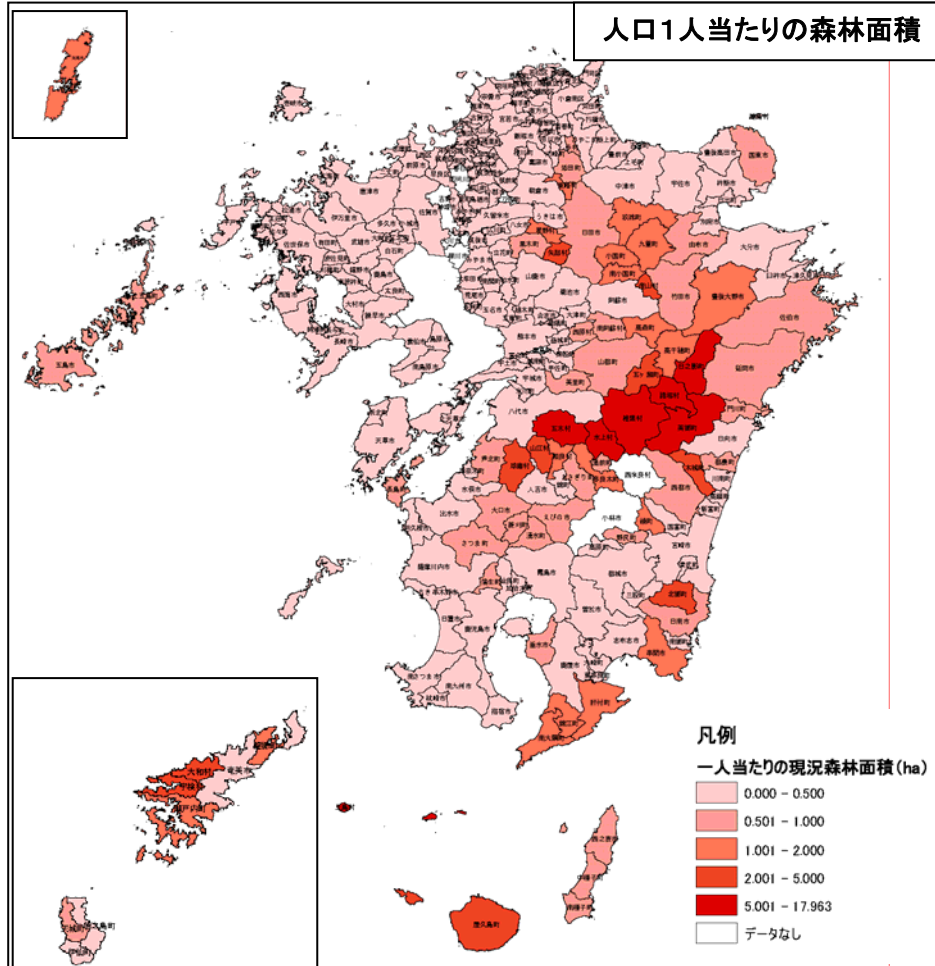


2. 国土保全・地域資源

参考資料1：P6~7

○人口減少・高齢化が顕著な市町村で、林野管理の一人当たり負担が大きい、あるいは自然、歴史・文化などの地域資源を有する地域が多数見られた。(宮崎・大分の山間部、離島)

○元来農地の少ない山間部や都市部を除く半島地域や離島などで第一次産業就業人口の減少、一人当たり耕作放棄地面積が大きい傾向が見られた。

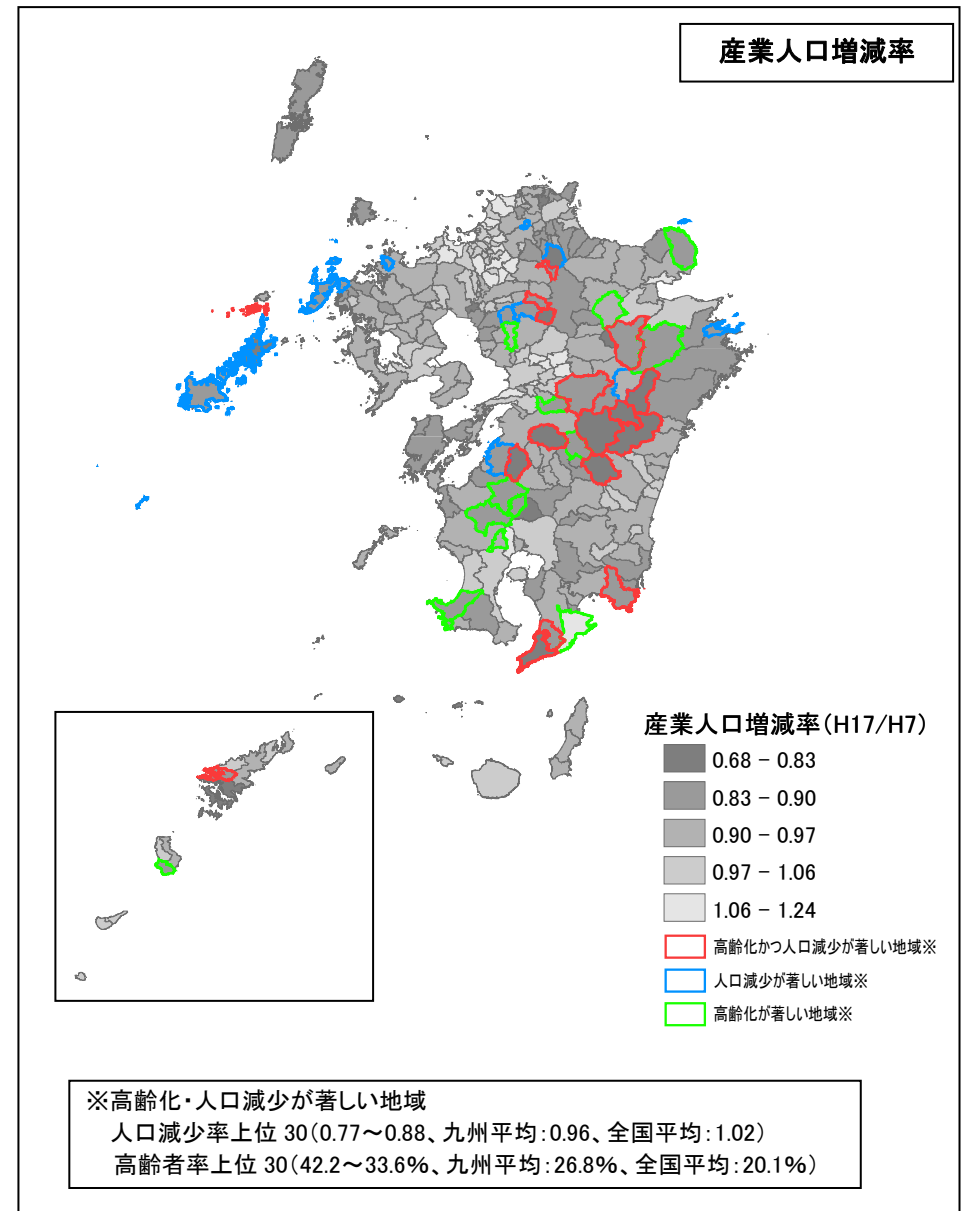


3. 地域産業・地域経済①

参考資料1：P17～26

○以下に示すような相関傾向からは外れた特徴ある市町村があるものの、産業人口増減などほとんどの産業・経済関連データと人口減少・高齢化との相関は高い傾向にあった。

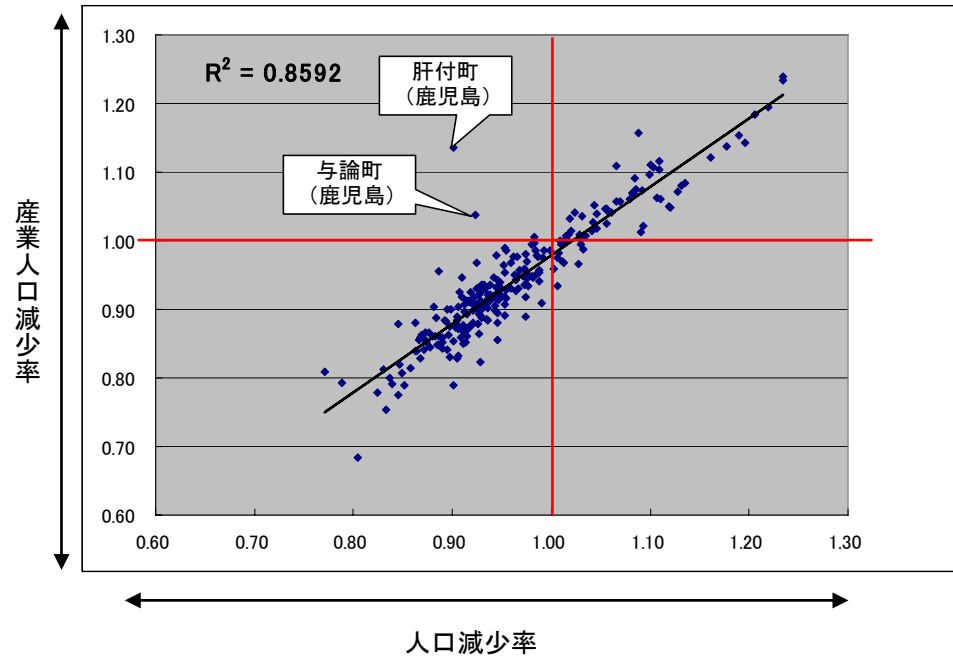
- ・ 都市部における急激な産業人口減少地域が存在・・・北九州市など都市部および都市近郊
- ・ 一次産業主体の中山間地などでは失業率は低い・・・諸塚村、椎葉村等
- ・ 高齢化が進行しながら、産業人口が増加する地域・・・肝付町
- ・ 一次産業の衰退が人口減少・高齢化によるものと、大規模開発によるものと考えられる地域・・・人口減少・高齢化が離島部、大規模開発によるものが都市近郊
- ・ 離島部など条件不利地域でも観光産業の活性化により産業人口を増加させている地域・・・南小国、屋久島
- ・ 人口減少・高齢化が進展しながらも一人当たり総生産の高い地域（大規模公共事業、施設など）・・・玄海町など



3. 地域産業・地域経済②

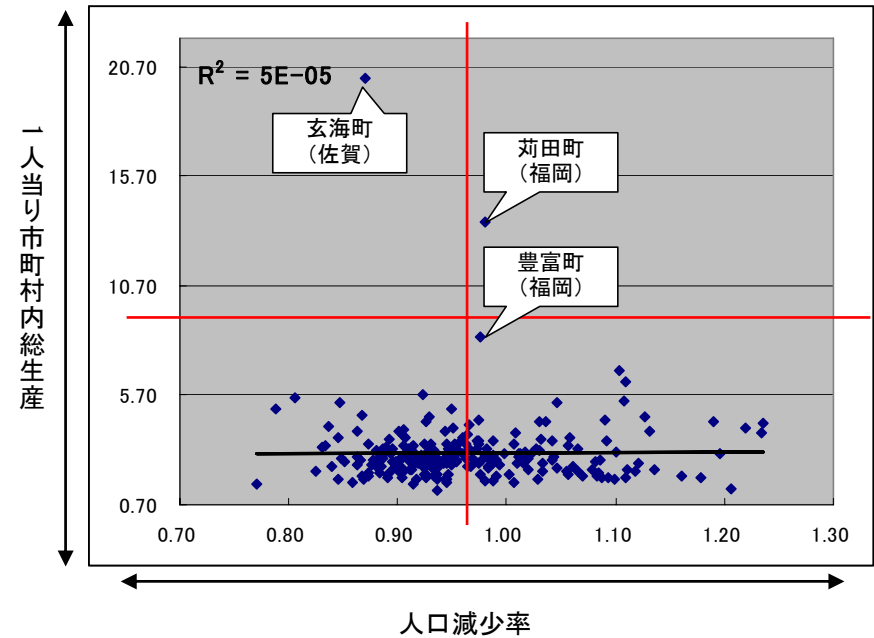
○宇宙産業のある肝付町のような特別な理由を持つものを除くと、産業人口の増減率と人口増減率との相関性は高い

産業人口の増減率と人口増減率との相関



○人口増減率に関わらず、1人当たり市町村内総生産は、同水準であり、市町村内総生産が人口数に影響を与えていることをうかがわせる

1人当たり市町村内総生産と人口増減率との相関

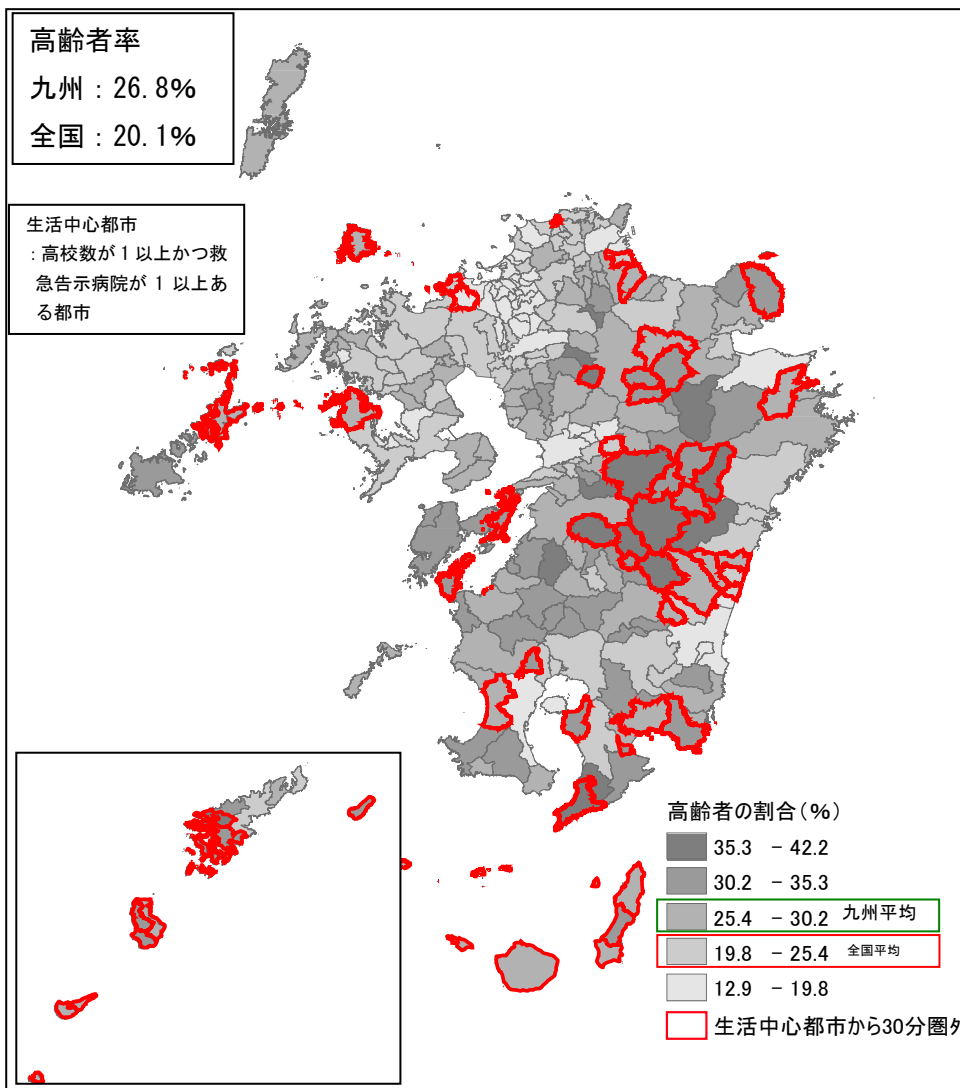


4. 生活サービス

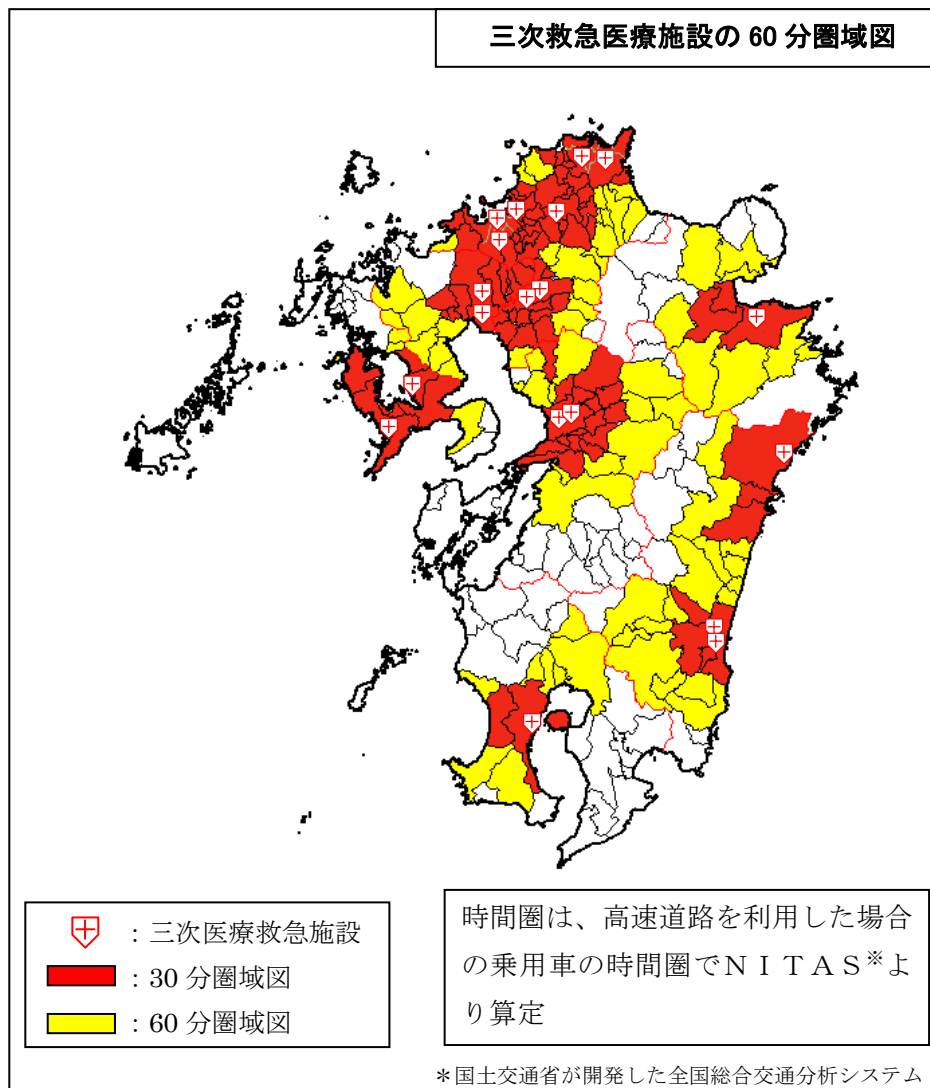
参考資料1 : P27~29

○一人当たり商業床面積が低い地域や核都市からの時間距離が外れた地域で、人口減少・高齢化が顕著な市町村が見られた。

○広域拠点施設の一つである三次救急医療施設の60分圏外に、人口減少、高齢化率の高い地域が見られた。



三次救急医療施設の60分圏域図

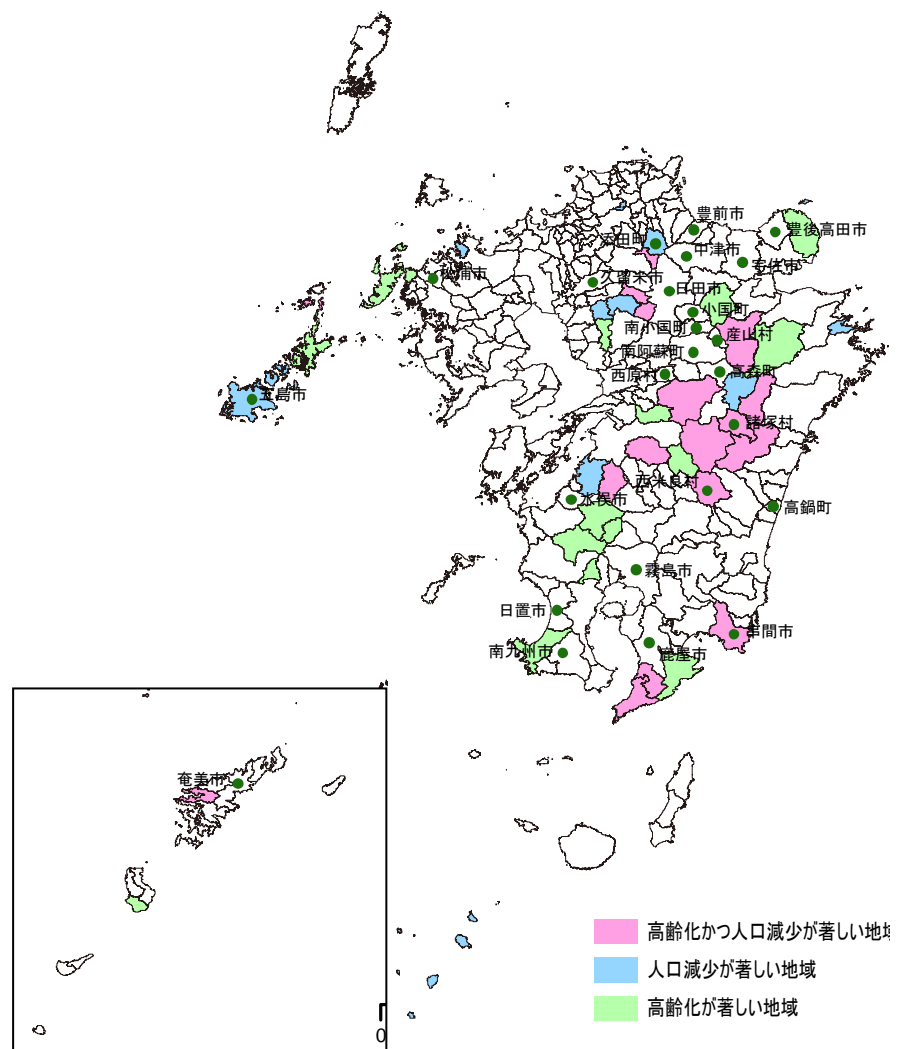


5. 地域コミュニティ・交流

資料：参考資料 2

○既存の取組事例などはあるものの、その定量・定性的な実態については、既存統計資料などでは、十分な把握が難しい。

事例名	対象地
全村森林公園・諸塚 ー百彩の森づくりー	諸塚村（宮崎）
豊後高田市「昭和の町」づくり	豊後高田市（大分）
～農業者によるバザール～	日田市大山町（大分）
実のある交流で日本一（自称）の棚田の里のむらづくり	水俣市（熊本）
「学習と交流」による地域づくり	小国町（熊本）
黄金の郷・山ヶ野、歴史と人が息吹くまちづくり	霧島市（鹿児島）
笠祇の元気な里づくり	串間市笠祇地区（宮崎）
「柚子の里づくり」で新産業を創出	日田市（大分）
悠久のときの流れに包まれた英彦山	添田町（福岡）
むらづくり活動	宇佐市（旧安心院町）（大分）
「農業と観光が調和した地域づくり」を目指して	豊後高田市（大分）
道路清掃による村づくり	西原村（熊本）
島民手づくり展望台	五島市（長崎）
安心院方式グリーンツーリズム	宇佐市（旧安心院町）（大分）
絶滅危惧種の保護を契機とした農村環境の保全	久留米市（旧田主丸町）（福岡）
阿蘇の草原保全運動	阿蘇郡一帯（小国町、高森町、南小国町、産山村、西原村、南阿蘇村）
昭和30年代の農村風景の再現	高鍋町（宮崎）
行政に頼らない未利用資源を活用した集落づくり	鹿屋市（旧串良町）（鹿児島）
めだかの保全と棚田を活用した地域活性化	日置市（鹿児島）
大分県、福岡県の県境を越えた山国川流域を単位とする地域づくり活動	中津市、豊前市など県境2市5町3村（大分・福岡）
島内、離島へのI・Uターン希望者に対する農業研修支援活動	奄美市（鹿児島）
廃校を拠点に自然体験やものづくりを通して地域間交流をめざす農村自然学校	南九州市（旧川辺町）（鹿児島）
村全体のテーマ性の統一と交流人口増加による地域づくり	西米良村（宮崎）
広域的なネットワークによる農漁業体験型の観光推進	松浦市ほか（長崎）



※高齡化・人口減少が著しい地域
 人口減少率上位 30(0.77～0.88、九州平均:0.96、全国平均:1.02)
 高齡者率上位 30(42.2～33.6%、九州平均:26.8%、全国平均:20.1%)

6. 総括

○統計データの整理・分析を受けて、必要なアンケート直接面接調査項目の抽出、面談調査の対象地を抽出し、当該調査を実施していく。

分析項目	統計分析上の考察	アンケート調査の留意点	直接面接調査の留意点
人口動態	○九州山地の中山間地や離島・半島など、条件不利地域とされる地域で、人口減少・高齢化の進展が顕著に見られた。 ○地理的な条件に加え、幹線道路によるアクセスが不利な地域で、高齢者比率が高い傾向が見られた。	○人口減少・高齢化の影響が危機的状态として顕著に現れる市町村内の集落単位での状況を把握	○地理的制約や交通アクセス条件がもたらす問題・課題を詳細に把握するとともに、より具体的な取組の実行に向けた問題を把握 ⇒対象；過疎化の進展する地理的制約の厳しい地域
国土保全・地域資源	○人口減少・高齢化が顕著な市町村で、林野管理の一人当たり負担が大きい、あるいは自然、歴史・文化などの地域資源を有する地域が多数見られた。 ○元来農地の少ない山間部や都市部を除く半島地域や離島などで第一次産業就業人口の減少、一人当たり耕作放棄地面積が大きい傾向が見られた。	○統計では現れない地域資源の管理実態や集落機能の低下による影響、それらに対する取組などを把握	○国土保全や地域資源の管理支援などの取組がありながら人口減少・高齢化が進んでいる地域における取組の効果実態や効果の向上に向けた課題を把握 ⇒対象；地域資源・景観の喪失が懸念される、または活用可能性のある地域
地域産業・地域経済	○相関傾向からは外れた特徴ある市町村があるものの、産業人口増減などほとんどの産業・経済関連データと人口減少・高齢化との相関は高い傾向にあった。	○産業・就業条件による人口減少、高齢化への影響について、集落単位での就業実態を把握	○産業衰退、盛況それぞれの特徴を持つ地域を対象として、人口減少・高齢化と産業盛衰との高い相関が見られる中で、産業活性化対策などの取組実態及びその効果を把握 ⇒対象；地域経済・産業の衰退・盛況地域
生活サービス	○1人当たり商業床面積が低い地域や核都市からの時間距離が外れた地域で、人口減少・高齢化が顕著な市町村が見られた。 ○広域拠点施設の一つである三次救急医療施設の60分圏外に、人口減少、高齢化率の高い地域が見られた。	○統計では十分に把握できない集落単位で見た生活サービスの実態やその支援などの取組を把握	○生活サービスの取組がありながら、人口減少・高齢化が進んでいる地域における取組の実効性や実効性向上に向けた課題を把握 ⇒対象；生活都市圏との関係による広域支援からみた地域
地域コミュニティ・交流	○既存の取組事例などはあるものの、その定量・定性的な実態については、既存統計資料などでは、十分な把握が難しい。	○統計では十分に把握できない集落単位で見た地域コミュニティの実態やその支援などの取組を把握	○地域コミュニティ支援や広域交流・連携の取組がありながら、人口減少・高齢化が進んでいる地域における取組の実効性や実効性向上に向けた課題を把握 ⇒対象；担い手確保・相互扶助・活動支援の可能性のある地域